



DNA 特異的な細胞核ライブイメージング試薬

NucleoSeeing

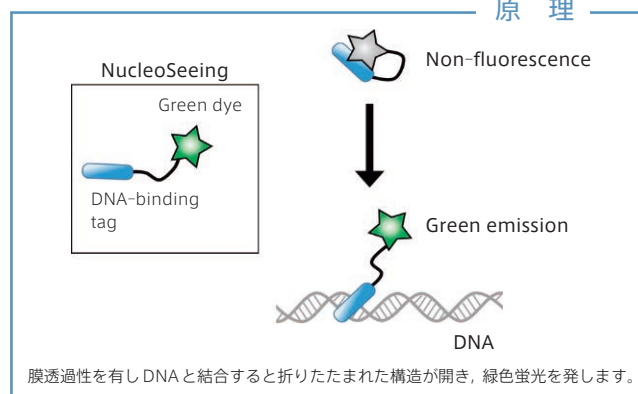
DNA に特異的に結合し緑色蛍光（励起 488 nm / 蛍光 520 nm）を発する **ライブイメージング用核染色試薬** です。動物細胞・組織のみならず、シロイヌナズナの葉細胞においても高い S/N 比が得られ、生細胞における核動態観察に優れています。また、細胞核特異的な pH センシングにも応用可能です。

※本製品は名古屋工業大学の研究成果をもとにフナコシ(株)が製品化し、販売しています。

特長

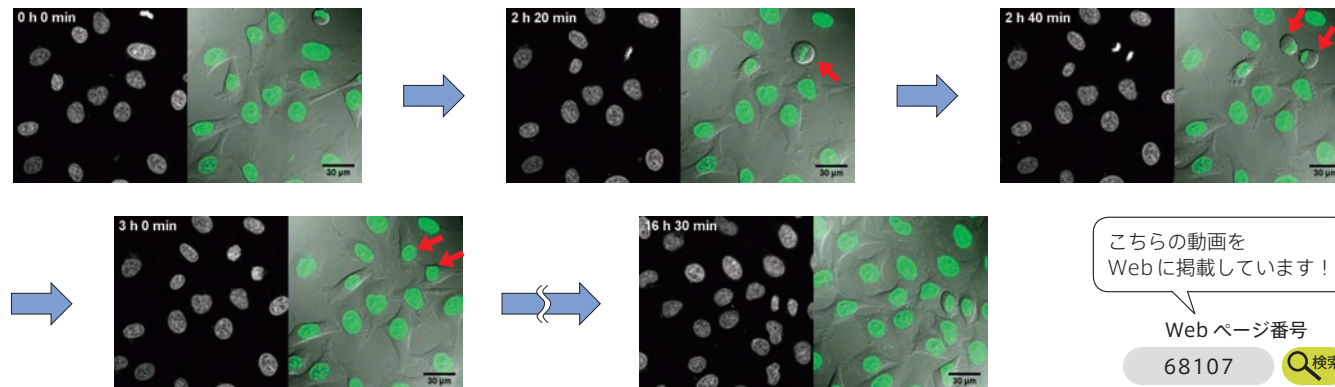
- 他社の核染色試薬と比べ、細胞毒性が低い試薬です。
- 培地交換をしなくても高感度イメージングが可能で、20 時間程度の長時間イメージングができます。
- FBS を含む条件でも良好に染色できます。
- 培地交換後 12~24 時間程度で除去可能です。
- 実績のある細胞：動物由来培養細胞・組織、
植物細胞（シロイヌナズナ葉細胞）
- 測定波長：励起 488 nm / 蛍光 520 nm

原理



使用例

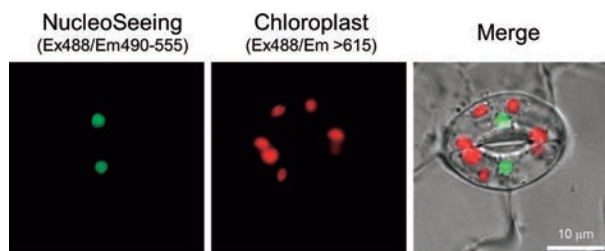
■長時間タイムラプスイメージング



HeLa 細胞をガラスボトムディッシュに播種し 20 時間後、0.5 μM NucleoSeeing in DMEM (+10% FBS) で 1.5 時間処理し、未洗浄条件下にて 10 分間隔で計 20 時間、共焦点レーザー顕微鏡にてタイムラプスイメージングを行った（励起 488 nm / 蛍光 500~600 nm, 60x oil lens）。有糸染色体分裂の様子が観察され、細胞が増殖する過程が観察できた。

※注意：本試薬で長時間タイムラプスイメージングを行う際は、培地交換をせず、本試薬を培地に含まんだ状態で観察することを推奨しています。

■シロイヌナズナの葉の孔辺細胞の染色例



葉緑体由来の自家蛍光と切り分けて核を染色できた。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
NucleoSeeing <Live Nucleus Green>	FNA	FDV-0029	0.1 mg / 30,000